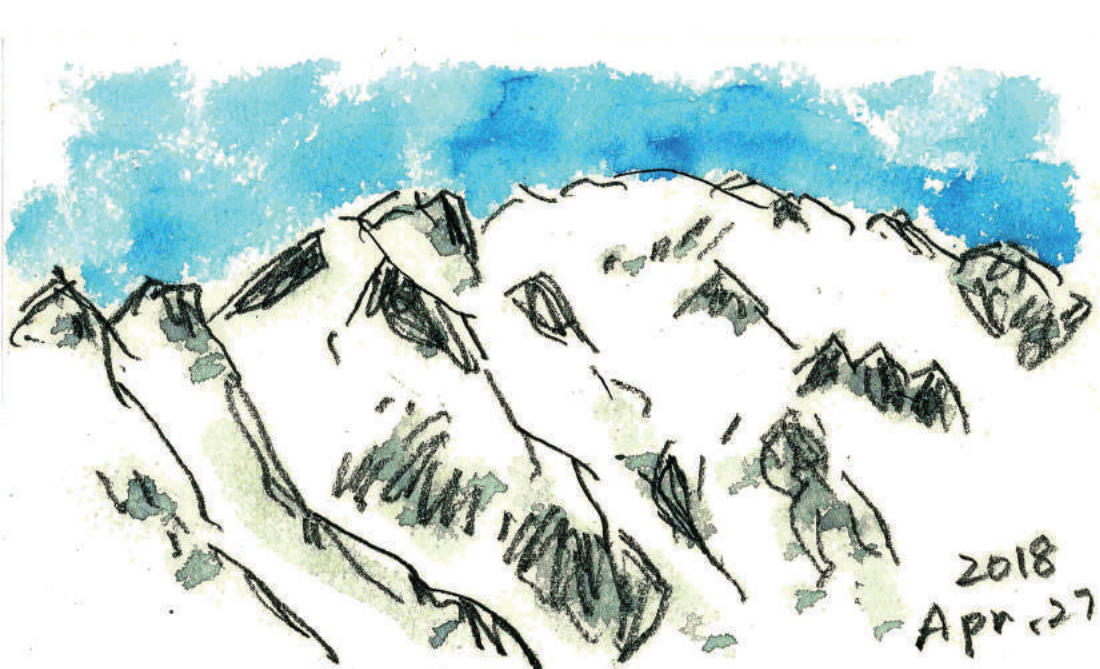


書店員と図書館員がおくる本の情報誌

# Book Fan Newsletter

2018山の日特別号



2018  
Apr. 27

## 本を紹介した書店と塩尻市立図書館のご案内

私たちが本を紹介しました。

長野県塩尻市にお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

### 丸文 (ウィングロード店)



塩尻市大門一番町7-1  
ウィングロード2F  
TEL 0263-52-5515  
営業時間 10:00 - 19:00

### 中島書店



塩尻市広丘高出1494-6  
TEL 0263-54-3968  
営業時間 9:00 - 22:00

### 神田堂



塩尻市広丘野村2219  
TEL 0263-52-1283  
営業時間 9:00 - 21:00(平日)  
9:00 - 20:00(土曜日)  
12:00 - 20:00(日曜日)

### 興文堂書店 (平田店/アイシティ21店)



松本市平田東2-18-30 / 東筑摩郡山形村7977  
TEL 0263-58-0323 / TEL 0263-97-3949  
営業時間 10:00 - 20:00 / 営業時間 10:00 - 20:00

Book Fan Newsletter  
2018山の日特別号

発行年月 2018年7月

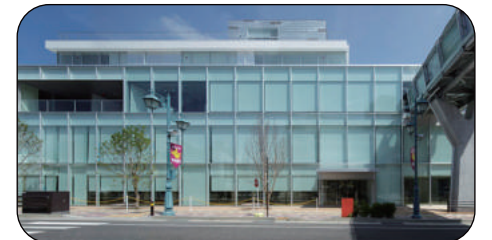
協力 塩尻書店組合

編集発行 塩尻市立図書館

写真 塩尻市立図書館  
Book Fan Newsletter 編集部

絵 鈴木良明 (立体地形図の会)

### 塩尻市立図書館 (本館)



塩尻市大門一番町12番2号  
TEL 0263-53-3365 (水曜日休館)  
※塩尻市内に8つの分館があります。







# Book Fan Newsletter

2018山の日特別号



## 目次

- 1 はじめに
- 3 読み物
- 5 写真・スケッチ
- 7 自然
- 9 趣味・知識
- 11 山の案内
- 13 こどもの本

## こどもの本

未来の大人たちへ。  
山の楽しみ、読書の  
楽しみを伝えたい。



槍ヶ岳山頂 川端誠/著 BL出版

小学5年生の僕と父さんとの2泊3日の登山。燕岳と槍ヶ岳を縦走する。朝の御来光、出会う高山植物、ごっこつした岩肌などがダイナミックに描かれた絵本。見返しには、穂高駅から帰りの松本駅までのスタンプが紹介されています。

## 中島書店おすすめ



キツネにももらったたからもの  
西村豊/著 アリス館

小学2年の家族旅行で訪れた霧ヶ峰が忘れられず、22歳で山小屋に飛び込んだ著者は冬の満月に向かって吠えるキツネと運命的に出会い観察を始めます。本書は「キツネのかあさん」と「その家族」を主軸に霧ヶ峰の自然の姿を文章と写真で描いていきます。そして、植物も動物も人間も「命のおもさ」は等しく、美しいことを語りかけてくれます。

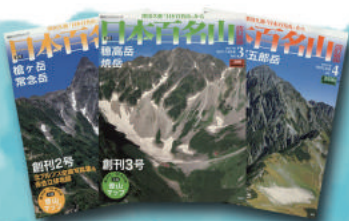
(中島書店 中島さん)

安全に楽しむ!子どもの山登り1-3 田部井 淳子/監修 鈴木出版

監修はあの田部井淳子さん。山登り前に親子で安全登山の知識を確認しましょう。全国のおすすめ登山コースもしっかり収録されています。







神田堂おすすめ

週刊日本百名山 改訂新版  
朝日新聞出版

旧版でも人気の改訂版。山を細か〜く知りたい人におすすめです。薄い本ですが集めるとボリュームたっぷりです。  
(神田堂 大塚さん)



神田堂おすすめ

鳥瞰図で楽しむ  
日本百名山  
成美堂出版

全国の山ガイドなのに長野県周辺が半分以上を占め、改めて山国信州を実感。山の紹介のほか、図の中に遭難対策や公共施設の情報なども。

(神田堂 大塚さん)

Hutte (別冊山と溪谷)(雑誌)  
山と溪谷社

数ある登山誌の中でも『Hutte』はカジュアルすぎず、かといって堅苦しくない。きちんと山の知識が得られ、山ガールにちょうどいい雑誌。2010年に創刊、2014年のVol.12で休刊となったのが残念。



たくさんあるよ!

～本だけではありません～

塩尻市立図書館では長野県内の市町村などが発行する登山ガイドを集めて紹介しています。

読み物



中島書店おすすめ



中島書店おすすめ



中島書店おすすめ

ふもとで山への想いを募らせるもよし、山小屋やテントでゆったりした時間のお供にするもよしの読み物。  
読みふけるうちに、先人の記録や創造が時空を超えてやってくることを、きっとあなたも感じるはず。文字だけなのに、なぜか想像が掻き立てられる本の力は本当にすごいと思う。



安全で楽しい登山は、正しい情報から。最新の情報が必要な分野なので、新しい本も次々と出版されます。山ガールが増えた今の時代を映し出す形でピックアップ。

信州山歩き地図シリーズ  
中嶋 豊/著 信濃毎日新聞社

元長野県警察山岳救助隊の著者が自ら実際に歩いて作った登山地図。登山口から頂上までの時間、分岐、絶景ポイント、道の状態が詳しく書かれています。また、危険な箇所は赤字で注意書きもされています。オールカラーとイラストでわかりやすく、登ったことのある人には思い出にもなるガイド本です。(興文堂 降旗さん)  
サイズが大きく携帯は難しいが予習には最高。(神田堂 大塚さん)

神田堂おすすめ  
興文堂おすすめ



山登りのいろは / あたらしい登山案内 / 最高の山ごはん  
ホシガラス山岳会/著 パイインターナショナル

本を作る仕事を通じて知り合った女性グループ「ホシガラス山岳会」による、山岳ガイド。登山ガイドのような、エッセイのような、ふんわりとした雰囲気魅力的なガイドブックです。

興文堂おすすめ



経験ゼロからのステップアップ 女子の山登り入門  
小林千穂/著 学研パブリッシング

「山登りに興味はあるけれど、何を準備すればいいかわからない」と一歩を踏み出せない人は少なくはないはず。そんな経験ゼロの人を全力サポートするのがこの本です。登山計画書の書き方や山頂での楽しみ方など、読み終える頃には立派な登山者になっているかも!? 今年の夏はこの本を読んで山登りに挑戦してみてはいかがでしょうか。(興文堂 福田さん)

1

穂高の月 井上靖/著 山と溪谷社

本書は、井上文学の背景になった自然観と思索が綴られた随筆集です。伊豆の天城山中で過ごした幼少から旧制中学までの原体験が、無意味だった著者を五十歳にして穂高岳瀧沢での観月会に向かわす原動力となりました。代表作『氷壁』の執筆を契機に、毎年穂高岳へ駆り立てられるように向かう姿が、とても興味深く描かれています。氏の文章は端正で冷静な感じがしますが、ヒマラヤのシエルバの少年との別れの記述は思わず目頭が熱くなりました。

2

河童(新潮文庫「河童・或阿呆の一生」より) 芥川龍之介/著 新潮社

舞台は上高地。突如現れた河童を追いかけて、穴に落ちて辿り着いた河童の国の滞在記。芥川が明治・大正時代に登頂した北アルプスの風景がちりばめられた作品といわれている。

3

北八ツ彷徨 随想八ヶ岳  
新山口 耀久/著 平凡社

開拓される以前の1950年代に北八ヶ岳の森や池をめぐる、思索する日々をつづった随想集。シラビソやコケに覆われた神秘的な深い森の空気がページから漂う、山岳文学の名著。

4

定本黒部の山賊アルプスの怪  
伊藤正二/著 山と溪谷社

戦後まもなく、北アルプスの奥地にある山荘「三俣山荘」の権利を買った主人が山荘に足を運ぶと、そこには山賊が住んでいた! 古い山小屋の再建のため始まった山賊との共同生活、主人や山賊たちが体験した不思議な出来事など、実話とは思えないストーリーと、当時の世相や登山事情を知ることができる貴重な書。

5

穂高小屋物語  
今田重太郎/著 読売新聞社

穂高岳山荘のオーナー・今田重太郎の回想録。大正14年の穂高小屋建設や登山道の開拓、上高地開通に伴う登山者の増加、戦中・戦後の登山など、北アルプスの歴史が凝縮された一冊です。

6

ぼくの仕事場は富士山です  
近藤光一/著 講談社

著者は登山経験が無いまま富士山登山ガイドを志した「小僧」。先輩と臨んだ初ガイドで、地獄絵図を体験して落ち込みます。しかしそんな彼もすぐ、富士山の魅力の虜に。登山者らの様々な思いに気づく余裕ができると、従来にない形のガイドを模索し始めます。そしてまさにそれが奇跡のエピソードへと。小学生から読めて、未経験者も富士山の魅力をちよっと味わえる本です。(中島書店 小野さん)

7

バッグをザックに持ち替えて  
唯川恵/著 光文社

人が旅に出る理由が様々なように、人が山に登りはじめるときはいろいろな不思議だ。唯川さんの場合は愛犬の死を忘れるために、もう二度と登らなことを決めていた浅間山にチャレンジすることを決める。最初は頂上まで到達しなかつた歩みもついにエベレストのトレッキングへと進めるまでに。山好きあるあるに領きつつ、山に登りたい気持ちを高めるエッセイ。(中島書店 越智さん)

8

琴乃木山荘のふしぎ事件簿  
大倉崇裕/著 山と溪谷社

標高2200mにある山小屋「琴乃木山荘」で働く新人アルバイト榎木絵里は、オーナーの琴乃木正、ベテランアルバイトの石飛匠らと山で起こる「不思議なできごと」の真相に挑む。山荘の目の前には標高2750mの竜頭岳がそびえ周辺にはシラビソの林がひろがる大自然の中、わずかな手から真実を導き出す全七話を収録。難しい用語はほとんどないので登山のことは全く分からない方でも十分楽しめます。(中島書店 霜田さん)





### やさしい山のお天気教室

粟澤 徹/著 樹出版社

北アルプス西穂山荘の支配人で気象予報士の著者による、山岳気象の入門書。登山者一人ひとりが気象の知識を高める必要性を説いています。わかりやすい解説と構成で、初心者でも挫折せずに楽しく学べるよう工夫が凝らされています。

### 日本の山を数えてみた データで読み解く山の秘密

武内 正、石丸 哲也/著 山と溪谷社

国土院の地形図に載る日本全国の約1万8000の山をすべてデータ化して調査・分析。同名の山一覧、ゾロ目標高の山一覧、「王家の称号」「色」をはじめ、特定の漢字を含む山一覧などの紹介があり、見ていて飽きません。



#### 興文堂おすすめ



### 山登り語辞典

鈴木 みき/著 誠文堂新光社

登山用語から登山にまつわる本や漫画・人物まで、様々なものを五十音順にまとめた本です。かわいらしいイラストと、ユニークな文体で楽しく読むことができます。用語集だけでなく、登山の歴史、登山道具も図解で紹介されており、初心者にとってついでです。

(興文堂 佐藤さん)

### 山の知識検定公認BOOK 安全登山の基礎知識 増補改訂版

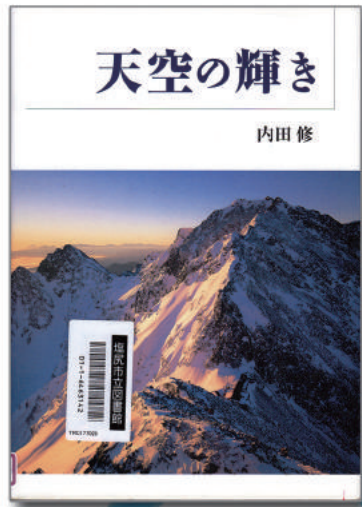
DO Mt.BOOK/編 スキージャーナル

山で遭難しないための基礎知識が各分野の第一人者によってわかりやすく解説されています。正しい知識で安全・快適な登山を！



季節や天候などによって色んな表情を見せる山々。山好きなら、その姿やそこから見える景色をどうにかしてとどめておきたいと思うもの。さまざまな立場の人が独自の視点で描いた山の写真・スケッチ。





天空の輝き 穂高岳山荘85周年記念出版  
内田修/著 穂高岳山荘

穂高岳山荘の歴史、自然エネルギー活用の取り組みなどを紹介。穂高岳山荘のことならこの一冊！写真は「穂高の虜」というカメラマン・内田修氏。



日本の山 究極の絶景ガイド  
西田省三/著 山と溪谷社

山は登るばかりではありません。姿を愛でるといふ楽しみ方もあります。山岳写真家がおくる、日本各地の「山の絶景」ガイド。



興文堂おすすめ

もっと山を楽しみたいあなたに。

フライパンで山ごはん  
ワンダーフォーゲル編集部山ごはん研究会/編  
山と溪谷社

大自然の中で食べるごはんはやっぱりおいしい！調理道具は登山用フライパンだけ。少ない食材で簡単にすぐできる山ごはんレシピが満載です。山だけじゃなくおうちでも忙しい日や疲れた日、ちょっと手抜きしたいなあなんて日にも役に立つ一冊だと思います。（興文堂 中沢さん）

3ステップで簡単！ご馳走山料理  
小雀陣二/著  
山と溪谷社

背負う荷物はなるべく軽くしたいけど、山登りの原動力となる食事にはこだわりたい。本書はフリーズドライや缶詰を使った、手早くできておいしい山料理の数々を紹介しています。大自然の中でとっておきの一品を作ってみませんか？

山と氷河の図譜 -五百澤智也山岳図集-  
五百澤智也/著 ナカニシヤ出版

山岳地形学者が描いた山の図集です。世界の山岳の精密な鳥瞰図のほか、日本各地の山々のスケッチも収録。単なるスケッチとは違い科学者のエッセンスを感じます。



槍穂高 空と雲のあいだに JAPAN ALPS  
佐々木信一/著 信濃毎日新聞社

松本市在住の写真家による、空と雲をテーマにした山岳写真集。雲海のプロクセンや山間にちらばる彩雲など、雲と光が作り出す山々の一瞬の表情をとらえています。



山スタイル手帖  
KIKI/著 講談社

モデルで女優の著者がお気に入りの山登りアイテムが満載の一冊。これから山登りを始める、山登りに興味がある方は、お気に入りを見つけて低山からトライ！





**考えるキノコ 摩訶不思議ワールド**  
佐久間 大輔/著 INAX出版

奥深いキノコの世界が満喫できます。自然って不思議だなあと、どんどんキノコ狩りのように山の奥深くへ入っていくような錯覚にとらわれ…装丁もすばらしいのでおすすめです！



**フィールド動物観察 (学研の図鑑 9)**  
学習研究社

家のまわりから野山まで、すべてのエリアで見かける獣の足跡や、食べかす、糞などの痕跡から動物を特定するための図鑑。子ども向けですが、大人が見ても新しい発見がたくさんある本です。



**樹皮ハンドブック**  
林 将之/著 文一総合出版

樹皮で木を見分けるためのポケット図鑑です。冬に葉や花がなくなっても、(すべては無理らしいですが)この本で木を判断できます。身近な木を調べるときも活躍する本です。



**和名の由来で覚える300種 高山・亜高山の花ポケット図鑑**  
増村 征夫/著 新潮社

「高山の礫地」など、場所別に花が紹介されているのがわかりやすいです。写真とイラストが豊富で、見ていて飽きません。



**ふゆめがっしょうだん**  
富成 忠夫、茂木 透/写真 長新太/文 福音館書店

目立たないけれどよく見ると面白い、いろんな顔に見える“木の芽”の写真に文章を添えた絵本です。この本を見てから山に行くと、また違った視点で木々を見られて楽しいと思います。



丸文書店おすすめ

**上高地の野鳥**  
前田 篤史/著 ほおずき書籍

上高地での野鳥観察ならこれ！小鳥のさえずりに癒やされ山々の緑とたくさんの花々にも出会うことでしょう。(丸文書店 小林さん)



**らいちょうころころ**  
一立山室堂のライチョウ親子 戸塚 学/著 文一総合出版

山のアイドル、ライチョウ。この鳥が生き続けられる山々であるようにと思いを馳せつつ、まさにベストショット満載の一冊をお楽しみください。

